

「YH 賞 2022」（第 2 回受賞作品）について

田中悠 《tsutsumimono》 2022 年制作

当館学芸員が「YH 賞」に相応しいと思われる若手作家数名を候補に挙げ、彼らの発表する作品を注視してきました。そんな中で、「第 16 回パラミタ陶芸大賞展」（2022 年 6 月 9 日～7 月 31 日）に出品された田中悠氏（1989 年生まれ）の《tsutsumimono》（2022 年制作）という作品が俎上に上がりました。

京都嵯峨芸術大学（現・京都嵯峨美術大学）で気鋭作家・日野田崇（1968 年生まれ）の薫陶を受けた田中氏は、手捻りと削り、着色の技術を駆使した独自の立体造形に精力的に取り組む若手作家の一人です。作品発表当時から一貫して「袋型」の作品を制作し、そのユニークな造形で注目を集めるようになりました。もともと油絵を専攻し、平面（二次元）から入っている田中氏にとって、「内側に空間がある」という、陶ならではの立体（三次元）がとても新鮮に感じられ、中に空間を作りながら成形すること、そして、その空間から展開していく作品を制作したいとの思いに繋がったといいます。手捻りで下から徐々に土の壁が立ち上がっていく姿が、まるで空間を包んでいくように感じたことから「包む形」という発想が生まれ、初期の作品は《フクロモノ》と名づけました。赤・青・緑・黄などのカラフルな色、あるいは白から黒までのモノトーンなどのヴァリエーションがあり、大きさもフォルムも自由な感じでした。

2018 年頃より、木箱に収めた陶磁器を包む布として定番の「ウコン布」の黄色に限定し、内側に包まれているものも壺、鉢、皿といった典型的な陶磁器のフォルムを彷彿とさせる《tsutsumimono》シリーズへと展開し、現在も制作を続けています。包まれたものの形に沿って生まれる布の柔らかなドレープの美しさも強調され、土を手捻りすることで生まれる造形を突き詰め、内と外のどちらも徹底的に仕上げていくことで、その造形が仲立ちする外から内へ、内から外への力の動きや向きなどをフォルムに取り入れ、年々、精度を上げています。

本作品は、2022 年、第 16 回パラミタ陶芸大賞展（パラミタミュージアム、三重）にノミネートされ、出品した新作のうちの一つで、これまででもっとも大きく、かつ、もっとも完成度が高いと思われる作品です。上に向かってずっと立ち上がっていく美しいフォルムと、結び目と接地面との絶妙なバランスから心地良い緊張感が感じられ、会場で一番、目を引いていました。昨年度に創設し、40 歳未満の作家による「先鋭的な表現を追求する優れた陶芸作品」を掲げた「YH 賞（兵庫陶芸美術館）」の第 2 回受賞作品として相応しい作品であると評価し、本作品を「YH 賞 2022」（第 2 回受賞作品）に決定しました。

田中悠（たなかゆう）氏について



1989年 愛媛県松山市に生まれる
2013年 京都嵯峨芸術大学（現・京都嵯峨美術大学）工芸領域
陶芸分野卒業
2015年 第49回女流陶芸公募展 女流陶芸大賞
2018年 BIWAKO ビエンナーレ 2018（近江八幡市旧市街、滋
賀）2020
2019年 第4回金沢・世界工芸トリエンナーレ 2019 金沢・世
界工芸コンペティション
2020年 第61回ファエンツァ国際陶芸展（イタリア）
2022年 第16回パラミタ陶芸大賞展（パラミタミュージアム、
三重）
現在、京都府京都市にて制作
京都市立芸術大学大学院美術研究科陶磁器専攻 在学中

田中悠氏コメント

この度はYH賞を賜り、誠にありがとうございます。大変栄誉ある賞に選出してくださったYH氏や美術館の方々、ご指導をいただきました先生方や先輩方、また活動を支援してくださる皆様に心より感謝申し上げます。

私はこれまでの作家活動で、一貫して包んだ形をテーマに作品を制作してきました。その中でも今回の受賞の作品は2022年の前半に制作したものです。新型コロナで多くの展覧会が中止となり思い通りの作家活動ができない中、工房で自身の作品に囲まれながら常に自問自答を繰り返し、いかにして洗練された造形を生み出すかを考えながら制作に取り組んでいました。その中でも本作は布の柔らかさや膨らみ、造形のフォルムやバランスなどに注視し、持てる力の全てが注がれた作品です。

受賞の連絡をいただいた際にはYH氏にお目にかかったことはございませんでしたが、陶造形の歴史を作り、長きに渡りその意志や理念を伝えてきた方として尊敬しており、作品を拝見する度にさまざまなことを学ばせていただいております。

いただいた賞に恥じぬようこれからもさらなる研鑽を積み作品制作を続けてまいります。この度は本当にありがとうございました。

【お問い合わせ先】 〒669-2135 兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4
兵庫陶芸美術館 学芸課 マルテル坂本牧子、村上ふみ
Tel 079-597-3965（学芸課直通） Fax 079-597-3967